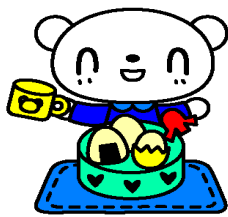




給食だより

令和5年 4月
栄養士 照屋恵美



ご入園・進級おめでとうございます



春風の候、子供たちや保護者の皆様もこれから園で出会うお友達や先生に胸をときめかせていることでしょう。精神的にも不安定になる時期で体調を崩すことも多いかと思いますが、栄養・睡眠をたっぷりとして規則正しい生活がおくれるよう心がけましょう。新しい環境に早く慣れるようご家庭と連携を取りながら進めていきたいとおもいますので、どうぞよろしくお祈りします。

栄養士 照屋めぐみ

乳幼児期は「食習慣の基礎がつくられる大切な時期」です。給食では成長期に必要な栄養素のバランスだけでなく、旬の食材や郷土料理などを取り入れ「食の楽しさ・食材の美味しさ」を感じられるようなメニュー作りをしています。一年間どうぞ宜しくお願いします。

厨房職員の紹介



保育園の給食



～食事を通して情操面や知能面を育てる“食育(食教育)”～

特に幼児期は、食習慣を身につける大切な時期ですから園とご家庭の連携で、子供への食育をすすめていきましょう。



離乳食

安心と安らぎのなかで食べる意欲の基礎づくり

- ★ 安心と安らぎの中で母乳(ミルク)を飲む心地よさを味わう
- ★ いろいろな食べ物を見て、触って、味わって、自分で進んで食べようとする
- ※ **一人ひとり月齢にあわせて作ります。初めての食品(特にたんぱく質)については、アレルギーの問題等もありますので、ご家庭での様子もお伺いしながら進めていきます。ご協力よろしくお願いします。**



幼児食

食べる意欲を大切に、食の体験を広げる

- ★ 給食では「昼食+おやつ」を提供しています。
- 1～2歳児 **午前のおやつ+昼食+午後のおやつ** 一日の栄養量の **50%**を給与目標量としています。
- 3～5歳児 **昼食+午後のおやつ** 一日の栄養量の **45%**を給与目標量としています。
- おやつは一日の栄養量の **10～20%**程度を目安にしています。
- 給食でバランスの取れた栄養が摂取できるよう計画を立てた献立作りをしています。



アレルギーについて

アレルギーのあるお子さんはお知らせください。除去食なども行いますが、その際は必ず**医師の診断**を受けていただき、**診断書の提出**が必要となります。むやみな除去食は成長の妨げになりますので、ご理解の程よろしくお祈りします

保護者の皆様へ・・・ こども達の食事には様々な危険が伴います。泣きながら・遊びながらの食事はごえん窒息を招くことがあります。お弁当会の際には、ミニトマト・ぶどう・さくらんぼ・球形チーズ・うずらの卵枝豆・カップゼリーなどの使用は控えて頂き、ご家庭で使用の際は、ごえん防止に配慮した形態で提供する、または、見守りながら提供する事で、子ども達の危険を少しでも回避できればと思います。大人がしっかり見守り、楽しい給食(食事)の場をつくっていただけたらと思っています。